

□議員名：伊藤實

1 救急医療の充実について

論点	市民は新病院ができると、救急、休日夜間診療等が充実することと期待されていると思うが、救急医療体制には医師、看護士、臨床検査技師、薬剤師等多くのスタッフが必要であり、その体制づくりはできているのか。
回答	救急課は持っていない。基本的には、24時間入院患者の責任は持つが、外来の患者には善意で対応している。救急車搬送の40%が軽傷である。今は勤務医に負担をかけないように皆で努力しないと、みんなが地域医療をだめにしてしまうことになる。

2 消費税増税の市民病院収支計画への影響額は

論点	消費税増税が現在の5%から8%、10%と増税されるが、増税の収支計画への影響額が幾らくらいなのか。また、どのような対策等を講じるのか。
回答	新病院建設計画の収支計画については、病院が費用として負担する額を平成27年度以降6,600万程度と想定している。 しかしながら、消費税率が段階的に引き上げられることにより、平成27年度が想定の6,600万円の1.8倍で、平成28年度以降は想定の2倍になると想定している。 そのため、平成36年度の内部留保資金は、当初計画では12億3,000万を見込んでいたが、5億9,200万円と半減する見込みである。